

学芸会・劇『子どもたんてい団』

＜キャスト＞		場面	一	二	三	四	五
			授業風景 ある日次の日	子どもたん てい事務所	密室事件	あやしい人	教室
子ども①	子・たん8	大前	0000 ○	○○ ○○			○○
②	子・たん7	黒橋	○○ ○	○○ ○○			○○
③	子・たん6	鎌野	○○ ○	○○ ○○○			
④		山口	○○ ○				
⑤		武市		○			
⑥	子ども校長	村上	○○				○
先生 2	ナレータ-345	小室	○○○○			⑤	○
3		原田	○○○				○
4		今江	○○○				○
新しい先生（白先生）		白波瀬	00000	○○○			
子ども市長		秋山の	○○	○○ ○			○○○
子どもたんてい1		安藤		○○○○○	○○○○○	○○	
子・たん 2		矢野		○○○	○○	○○	○
子・たん 3		仁木		○○○○○	○	○ ○	
子・たん 4		高田		○ ○○○○	○	○	
子・たん 5		平野			○○○	○○○○○0000	
刑事1（藤刑事）		藤沢			○ ○	○○○○○○○	
2（トモ刑事）		秋山と		0000	○○○○	○○○0000	
3（東川刑事）		西川		○○ 00○○		○	
4（オチ刑事）		一尾		000000			
どろぼう		山石		00000			
被害者		川崎		0000			
母		山本		000	○○○		
子1		若仁		○○○○○			○
子2		藤井		○ 00○			○
気が狂った人（月高）		日高			○○		○
あやしい人1（竹田）		竹井				○	○
2（志田）		志賀				○○	○
3（浜川）		浜田				○	○
ナレーター①		林	○○ ○○	○○			
②		能勢	○○ ○○	○○			

『子どもたちんてい団』

ナレーター①

これからはいじまるお話は、今から二〇〇年ぐらい<sup>後の</sup>未来のお話です。そのころ、町の市長も、子どもたちから選ばれています。

「子ども中長」という子どもの代表もいるのです。

ナレーター②

また、小学校の授業も午前中で終わって、午後は、子どもたちも、大人といっしょに、いろいろな仕事をしているのです。

「子ども探検団」という仕事をしている子どももいます。

ナ ①

さて、はじめの場面は、小学校の教室です。

授業も、今とちがって、子どもたちが前にならんで、わからないことを質問し、席にすわっている先生たちみそれぞれに答えるという今とは逆のありさまになっています。

ナ ②

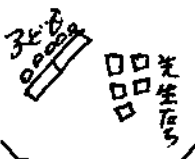
では、教室の場面ははじめます。

一、授業風景

先生たちが席にすわってまっています。そこへ子どもたちが入ってくる。子どもたちは、手に小型コンピュータをもって、

説明は外音  
後述する

子ども  
先生たち



先生たち  
子ども①

子・②

先生②

子・④

先・③

子・③

先・④

子・①

先・②

子・①

子・⑥

先生たち  
子ども①

先生たち

それでは勉強をはじめます。今日も、先生たちががんばって下さることは、はじめは思いません。

「この席が私かよあかりなんですか」というのがわからないので、それは「ハイ」  
「と、いうことです。」

わたしは「ハイ」  
「と、いうことです。」

それは「ハイ」  
「と、いうことです。」

ほくは「ハイ」  
「と、いうことです。」

それはか人たんですわ、隣くん。「ハイ」  
「と、いうことです。」

わたしの質問は「ハイ」  
「と、いうことです。」

「ハイ」  
「と、いうことです。」

先生たち、しっかりと勉強していただきますわ。全部答えられましたわ。

他に、もう質問は、ありませんか。

はい、あの、地球はまるいんですわ。それで東へ東へ行くとも、西へ西へ行くとも、どこか、北へ北へ行って、もとにもどら

子どもたち  
小理エニョーター  
をうごかしている。

先生たち

子②

先生たち

子③

子④

子⑤

子①

子⑥

子⑦

ないんです。どうしてですか。

あいうえお、かきくけこ。て、みんな5つみるでしょう。だけ  
と、やゆよ「て、何で3つなんですか？」

先生、どうして日本語で、「ん」をほじきまるとは言わないの。

動物の足の数で、2本、4本、6本とかですわ。3本、5本と  
の足をもっている生き物は、いるんですか。

このおいた本で、<sup>夜</sup>収割のかわらをなら、昔はたが、<sup>アヤメ</sup>アヤメが  
一定じゃなくて、不定のとき、ほん有かアヤメに有るんですわ。

あれ、先生たち、ちよつとむずかしくなると答えられないで  
すか。ちよつと勉強かたりないようですね。次の時までには答えら  
れるようにがんばって下さい。今日の勉強は、これでおわります。

あやめ

（チャイム音）

最近の子ともたちは、よく勉強しているわ。

子ともたち

先生だけ残る。

あやめ先生のむすめ

先、4

先、2

先、3

子ども市長

先、4

先、4

先、2

子ども市長

私たち、ついていけないわ。

もっと勉強しないとね。

先生の教も、もっといるわ。

やめ、先生たち、ごろうごまです、ほくも今、勉強が終わっ

て、市長としての仕事をはじめたところですよ。今日は、先生方の

声をきこいつとおもって来たのですか、何かありますか。

子どもたちの勉強量がすごいで、私たちついていけないほど

なんです。

子ども市長、もっと先生の教をふやしてもらえませんか？

先生たちの身ま之じやありませんか？ 今から二〇〇年前は、

一人の先生が40人の子どもを教えていたのですよ。今は、だいた

たい一対二ぐらいですよ。ま、でも、ひと一人増やしまし

まう。明日、新しい先生にこの学校へ来てもらいますよ。

— 暗転 —

(先生たち着席、子どもたち、新しい先生と入場)

そこへ子ども市長

そこの子ども市長

暗転後、子ども市長

子①

先生たち

子②

新先生

子③

先生たち

子④

新先生

子⑤

新先生

子どもたち

今日は、新しい先生を紹介します。

(よかったなあ、の声)

白先生、どうぞ、その席へ。

ありがとうございます。みなさんよろしく。

先生方、そのうぼくたちが出した質問、わかりましたか。

……

あらまあ、先生たち、宿題わすれですね。

みんな問題でしたか？

(そのうの問題を説明する)

ああ、そんな簡単なんですか。君たちのもっているマイクロー、

コンピュータのアルファキーを押して、次にベータキー

をおして、どう、全部答かできてきたでしょう。

ああ、すごい、全部わかるね。

(他の先生たち、おちこむ)

(チャイムの音) 子どもたち退場

(パソコンを利用しながら)

子どもたち

いっせいにコン

ピューターをいじる

しばらく、子

どもたちの操作

が、つづく。

ナレ①  
ナレ②  
ナレ①  
ナレ②

新先生

新先生

るじん

新先生

子、たん

子たん

みなさんは、子どもたちの出した問題ばかりか、わかった人がいたら、この劇が終わったあと、言いに来て下さいね。さて、次は、子どもたちが登場します。いろいろなナツをといてみます。みなさんもういっしょに、ナツとぎをしてみてもいい。

ここの学校のチャイムの音、二〇〇年前と同じですね。よく二〇〇年前のが残っていましたね。

(他の先生たち、何もしゃべらず、無視して、ひそひそ話)

子どもたちのコンピュータは、最新の、すごいものですね。

(他の先生たち、それに何も答えず)

——暗転——

二、子どもたんでい事務所

たんでい、電話をしてくる子、パソコンを手話して

る子、いそがしそう。そこへ、白先生入ってくる。

「ここの子どもたんでい事務所」ですか。みんないそがしそう

ですね。わあ、すごい。カード式のテレビ電話を使っている

ですね。(しばらく、うろうろして、みまわす)

あ、白先生いらつしやい。

白先生の人気、なかなかのもんです。

説明  
おは、えん  
昔は机

新先生

子、たん3

子、たん4

子、たん8

子、たん3

子、たん6

子、たん7

新先生 おん

子、市長

子、たん3

子、たん8

刑事3

いや、そおかわ。他の先生方が、しゃべってくれないんですよ。  
あれ、いじめですか。

いじめって、何です。

二〇〇年ほど前には、子どもたちのあいだにも、いじめって、

あったらしいけど、今じゃ、そんなもの、ありませんよ。

大人の世界には、残ってたんですか。

大人の世界って、おくられてるんだ。

先生たちも、勉強ばかりしてないで、休み時間は、大人どう

しで、運動場でいっしょに遊べば、いいんですよ。

みんなをいっしょに遊ばせたいから、いっしょに遊ばせたい。

みんな、みんな、みんなはあつてね。

(電話で) ああ、はいはい、はい、わこのとき、か行方不明なん

ですわ。わかりました。すぐ見つかりますから。たすの毛を一本

とって来て下さい。

やあ市長、今日は刑事さんといっしょですか。

事件がひとりとなくてね。大かわこの行方不明とか、そんなん

白子退治  
引も市長居場  
刑事といっしょに

ばかりでね。

子、中長。

おこのも一本巻、どうするんですか。

子、たん6

生き物の体からは、電液かでてるんですよ。

子、たん3

その電液は、一人ひとり、一つひとつの生き物によってちがうんだ。

子、たん4

おこの毛から、そのおこの電液を調べて、このE.W.U.チでこがせばすぐわかるんです。

刑事 3

子どもたんでい困は、すごいものをもっているんだね。

母

すみません、子どもたんでいさん、相談があるんです。

子、たん7

どうしたんですか。

母

子どもの兄妹げんかなんです。この子たち、私がおやつをわけてあげていますが、いつも、どっちか多いかなんて、けんかばかりするんです。

子、たん4

それはね、お母さん、子どものことを、大人が決めるからいけないんです。子どものことは、子どもにまかせることです。

みん

子どももこの話は、こどもにまかせることです。

母子3人登場

姉弟、言い合っている。

母

いや、具体的にどうすればいいのです。今日は、このロールケ  
ーキを分けるんですが、きつちりほかっても文句を言うんです。

子、たん8

だから、子どもにまかせて下さいよ。

子、たん8

姉と弟に耳うちする。子二人、なめるほどという顔

子1

なめるほど、子どもたんでい困ですわ。これでケンカしな  
くてすむね、お姉ちゃん。

子2

うん、よかったわ。私も 子どもたんでい困の仕事したいなあ。

子、たん6

どうせどうせ、いそがしくて、メンバーがほしかったところな  
んだよ。

子、たん7

ほくも やりたいなあ。たんてい困。

刑事4

やあ、たんてい諸君、いつも、いそがしそうだね。

子、たん7

久しぶりですわ、オチ刑事、どうしたんですか。

刑4

ちよっと、こまったことかおこつてわ。この方がカバンを、

とられたと言つてわ。

子、たん8

キルですか、めずらしい事件ですわ、この数ヶ月、きりたこと

ロールケイキとあつ  
たしとわつていさ。

明るいま。

そこへ、刑4と  
どうぼう、被害  
者登場

刑 4

はいですからね。それで、何がおこまりなのです。

とられたカバンが、この人のもっているものだと言っていますが、この人は、これは自分のだとおっしゃるんです。

(どろぼうと被害者、口々に、自分のカバンだと言いはる)

ま、たんえ

ちよっとみせて下さい。自分のものなら、中に何か入っているか、お二人とも言えますね。(二人とも、もちろんと言うようにうなづく)じゃ、順番に言ってみて下さい。

どろぼう

カード、ユニヒューター。(たんえ、とり出して、うなづく)

被害者

カード式テレビ電話。(たんえ、とり出す)

どろぼう

ティッシュペーパー。(たんえ、うんうんとうなづく)

どろぼう

何も、高いものは入ってないでしょう、私がとるわけないでしょう。

被害者

いいえ、もうひとつ入っているでしょう、「ヤンスル」が。

(たんえ、とり出す)

刑 4

なんですかそれ、木の棒みたいなもの、それを高いものですか。

子 1

何それ、またこんなものないなめ。ヤンスル？ヤンスル？食べるもの？

子2

子1  
子1たん6

被害者

どうぼう

刑 4

子たん2

子たん2

それは、一〇〇年ほど前まで使われていた小型の記録用の道具

で、「えんぴつ」というものよ。

ふーん、食べられないのか。  
今では、さうとうまなつものじゃないですか。

私は、古いものを集めるのが趣味なんですよ。  
それは、一〇〇年ほど前まで使われていた小型の記録用の道具

それは、私が苦勞して、手に入れたものですよ。

子とたんてい君、こんなふうに、このお二人のどちらのすの  
ものか、決め手が無いんですよ。

刑事さん、こんなかんたんな事件で、ないですよ。

(子たん2、被害者の耳もとでささやく、被害者、子たん2の  
耳もとで何か答えている。)

(子たん2、どうぼうの耳もとでささやく、どうぼう、こまっ  
てうなだれる。)

(子たん2、カードコンピュータをいじる)

刑事さん、この方が、ウソをついていました。

どうぼう  
刑 4

被害者

子1、2

子市長  
子1、2

ナレ①  
ナレ②

刑事 2

子、たん 4

刑 2

子、たん 4

子、たん 3

子、たん 1

すみません、私ひとり手した。とうしても「ペンスル」がほしかったもので、つい。もう二度としません。すみませんでした。  
さすが、子どもたんてい君、ありがとうございます。

(刑4、どうぼうをつれて退場)

ありがとうございました。(退場)

すこいね、どうしてわかったんだらうね。

さすがだね、じや、ほくははれするぞ。

(白先生、母、も退場)

(子たんたち、またいそかしそうにしている)

さあ、このナレときわわかりましたか。どうやら、このナレをわかってもらえた。わかった人は、あとで言いに来て下さいね。

(走りこんでくる)たいへんだ、たいへんなことがあったぞ。

トモ馨柳さん、どうしたんですか。

マーカー、マーカーだよ。

(マーカーとして)マーカー……何ですか。

人が殺されたんだよ。

この数十年前、マーカーでなかつたから、コマが知りたいのも無理ないけど。

刑2退場  
でしよ、う中



三 密室事件

(窓のまったくない部屋、たんてい田、刑事、気おくをなくした人とその妻、がいる)

子1  
子2  
母  
子、たん1  
子2

あつ、けくの家だ。  
お母さん、とうしたの。  
お父さんが……  
まず、様子を説明して下さい。

この方が、その気おくをなくされた方です。月高さんというんですか。

刑 1

このおくさんか、おうちに帰って来られたら、ドアが

あかないので、心配されて、警察に電話して来られて、私とこの東川刑事といっしょに、ドアを叩いて入ったのです。

刑 3

ドアを叩いて入ったんです。

子、たん1

それで、部屋の様子は、どうでした。

刑 3

月高さんが、ここにたおれていて、横に花びんがころがって

子、たん5

ました。  
東川刑事さんは、とうして、これは事故だと思ったのですか。

刑 3

入口のドアがしまっていたでしょう。一っだけあるカギは、こ

の月高さんの手のひらにのっていましたし、他に出入口、窓は全くないでしょう。入口にホストがあるだけで、何もしようもない、と気が入る。

子1、2トアをあけて走り入る。

たん5、ホストを見る。何かをみる。

刑 事 1

母

刑 事 3

母

子、たんご

月 高

子、たんご

月 高

子、たんご

刑 事 2

たしはも入りにまはる

だから、何かのひょうしで、月高さんがご自分で、このケースにあたらられて、それで花びんがおちてきて、頭にあたったと。

私の夫は、そんなドジじゃありません。これは、さっとだれかにやられたのですわ。

カギは、ご主人だけが、一つだけもっておられるだけですか。はい、そうですか。

月高さん、何かおぼえていませんか、だれかが訪ねて来たとか、それが全くおぼえていないのです。自分の名前も、おもい出せないのです。

月高さん、頭のどこかいたみますか。

(頭のニヶ所をおさえる。)

え、前と後ニヶ所かいたものですか。(月高の頭をみる)

これは、だれかに、なぐられていますね。花びんがおちてきて、

ニヶ所にあたるとは考えられませんか。

やっぱ、これは事件だ。インジェリーだ。

子たん 1.

じゃ犯人は、この部屋に、どうやって入って、どのようなして  
出ていったかだ。

子たん 2

入口のカギは、しまったままだったんでしよう。  
犯人は、月高さんの知り合いで、ドアをあけてもらったのじゃ  
ない。

刑 2

そうだね、ありそつたあとがないからね。藤くん、東川君、  
月高さんの知り合いた、あやしい人物をすぐ調べてくればええ。

(刑 1、3 走りさる。) 調べてきまーす。

月高さんたち、どうぞ病院へ行つて下さい。

(月高家族去る。)

子たん 1  
知り合いで、かんたんにこの部屋に入つても、どうやってカ  
ギをかけて、出ていったかだ。

カギは、月高さんの手に残っていたものね。  
犯人は、月高さんの知り合いで、この部屋に入つたところ  
に、カギをかけた。ひつかりかかっている。

ナレ 3

さて、みなさんは、どう考えますか、推理して下さい。  
犯人は、どうしてこの部屋に入つたのでしょうか、カギをどう  
やってあけたのでしょうか、どうやって出ていったのでしょうか、

高知  
厚。

ひげをまていたのか。

ナレ4 このむすかしいナツを、子どもたんでい間は、とくことができ  
るのでしようか。

ナレ3 次の日、あやしい人、3人がつれて来られました。

ナレ5 この3人のアリバイ、あつアリバイというのはね、事件がおこ  
ったときに、その事件の場所になかったという証明をすること  
ですが、この3人のアリバイをきいて下さい。

ナレ4 3人のうち、一人だけウソを言っている人かいます。たんでい  
たちは、それをみつけ出せるでしょうか。

#### 四 あやしい三人

(前と同じ客室) (たんでい曰、刑事とその三人がいる)

刑1 いや三人のすたらに、そのう事件のあった夕方時、どこにい  
たか、言ってもらいます。

あやしい人1 ほくの会社の事務所が、この都居の向いにあるのです。そのう  
のら時には、家に行きました。そのうの事件があったら時、会社の  
人が、ほくの家へ電話をしてきて、ほくがその電話にでています  
から、まちがいないですよ。月岡くんは、たいへんでしたね。

幕  
15分

二刑4  
こまめ  
ヨラのつない

あやししい人2

あやししい人3  
刑4

刑3  
刑4

刑1

子、たん5

刑2

子、たん1

ぼくは、テレビアニメの声優をしています。アニメの声の役です。それで、きのうの6時は、ちやうど家において、声を出す練習をしていましたよ。それをテープにとっていましたたが、そのテープに、たまたま、NHKの6時のニュースの音が入っていましたから、それは、たしかですよ。月高くんとは親友ですよ、ぼくは、<sup>これは、ぼくも知っている</sup>ぼくは、大学の野球部のコーチをしています。きのうの6時は、まだ試合中でしたよ。その試合が終わった7時まで、ずうっとグラウンドにいましたからね。ミニへ来れるわけないでしょう。今日も練習があるのに、二人などころへ呼び取って、めいわくだな。  
この三人とも、月高くんの友達で、他に月高くんのお知り合いは、ないのです。

あ、その事後の方のテープには、たしかにNHKの6時のニュースの音が入っていたのですか。

私たちが調べたから、まちがいないよ。

もう一度、ぼくらたちにもぎかせてもらえますか。

刑 1

子、たん 3

いいですよ。これがそのテープですよ。

今どき、テープをめずらしいですね。雑音も入るし。今はみんなMTRでしょう。

あや 2

ほくほ、古いものが好きですね。

刑 1

子、たん 5

(刑 2 テープ再生、NHKのニュース音のままだった事が流れる) まちがいなんでしょうね。

ちよっとまって下さい。テープは、まだつづいていきますね。もう少し、先まで、まわして下さい。

(テープにチャイムの音が入っている)

何か、あったかね。

子、たん 5

警部さん、よく聞いて下さい。チャイムの音がきこえませんか。

(もう一度、テープをまわす。チャイム音が手にまざって入っている。)

刑 2

チャイムの音も入ってるけど、それがどうかしたかね、君。

子、たん5

みんな気がついたわ。つ子たんたちをみまわす。

子、たん2

私たちの学校のチャイムの音だわ。

子、たん4

あの、変ななり方をするチャイムの音。たしかに学校のだけ。

刑 2

それか、どうかしたか。

子、たん1

警部さん、これは、決定的なんです。このチャイムのなり方を

したのは、この学校の下の校の時刻、4時半だけなんです。

刑 1

というと……

子、たん5

そう、6時のニュースのあとに、4時半のチャイム音が入って

いるという事は、このテープが、編集されたものということでは

すよ。

刑 1

ひや、このお徳さんの言ったことは……ウソだと

刑 2

（あやしい人2、うなだれる。）

刑 2

山野君、君は、どうして、この人があやしいとおもったんだ。

子、たん5

警部さん、その人のボケットから、ひものようなものかのをい

ているじゃない。

ひものようなものかのをい

子、たんご

(刑2、みやごのポケットからた二糸のようなものを取り出す)

そのた二糸の切れはしと、このた二糸の切れはしをくらべてみて下さい。(と言って、子たんご、自分のポケットから、た二糸の切れはしをとり出して刑2にわたす。)

刑 2

子、たんご

あっ、ぴつたりと合うよ。で、この意のもっていたた二糸は……(ドアのポスト のところに行つて)きょう、この都庁をしらべたとき、この ポスト のところにひかかっているのを見つけて、もっていたんです。

刑 3  
子、たんご

山野君がみつけた。このた二糸をもとに、ほくたち「子どもたんでい」で、きょうの夜おそくまで、みんなで考えたんです。では、これから、みんなで考えた推理を言います。

ナレ

さあ、た二糸が事件のきめ手となるので、さういふ(事件が再現される)で、さういふ下さい。

月高さん、あやししい人(犯人)の動作にあわせて、子どもたんでい  
が説明していく。

なるほどね、さすが「子どもたんでい」だ。ありがたう。

暗転

犯人、刑事たち

暗転

五、はじめの教室——休み時間

子ども校長

あーいみんな、いい知らせだ。この

事件を解決したと

先生たち、子どもたち、たのしそつにしゃべっている。

で、子どもたちのかがみとめりれたぞ。大人たちが、こんどは、

子ども校長を選んできいと言ってくるぞ。

子ども 1

そりやまってるでしよう、村下君よ。(みんな賛成)

子ども 2

そりやまってるでしよう、村下君よ。(みんな賛成)

ほくかはじめに「子ども校長をやるけど、みんな慣習にやって

子ども校長

いこう。そして、みんなの願いがかなう。たのしい学校にして

いこう。友たらいっぱい、たのしさいっぱいの学校にしていこ

う。(賛成、拍手) (いっせー村下ノ、声もとぶ)

オッー

みんな

合音「子どもたちの手紙」

幕

幕

※追加、次のページ

幕

※(子・市長)

先生4

先生

先生

子どろ①

子 ②

子たん2

子又1

子市長

月高

志田(あやこ)

竹田(あやこ)

美川(あやこ)

月高さんの気おくがもどったんだって。

あの犯人の人が、つきつきりで月高さんを看病したんですって。もとの親友時代の心にもどったんだね。

きつとまた親友になるよ。あの二人は。

あつ、むこうから来るの、若くんたちじゃない。

あつ、月高さんのお知り合いの、あの三人の人もいっしょよ。

あつ、よかったわね。若も。

あつ、よかったわね。若も。

月高さん、退院おめでとうございます。

みなさん、ほんとにあつがとう。この三人が看病してくれてね。

ほくの友人は、この三人だけだから、三人の顔をおもい出したのがきつかけで、気おくが全部もどったんです。

ほんとにすまなかつた。(ちよ、とうなだれながら)

よかったわ。月高くん。

よかった、よかった。

あつ、月高さん  
月高家族、舞台  
下より登場

子、市長

もうひとつ、いい知らせがあるんだ。